



平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 南海辰村建設株式会社

コード番号 1850 URL <http://www.nantatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 猪崎 光一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 北村 聡

TEL 06(6644)7805

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,450	11.0	716	44.9	602	49.2	397	41.1
23年3月期第3四半期	28,584	14.1	1,299	115.6	1,186	158.3	674	54.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 367百万円 (48.8%) 23年3月期第3四半期 718百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	1.38	
23年3月期第3四半期	2.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,788	4,917	16.5
23年3月期	35,047	4,549	13.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,917百万円 23年3月期 4,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期				0.00	0.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	41,300	2.8	960	36.1	710	47.3	680	46.8	2.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	288,357,304 株	23年3月期	288,357,304 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

24年3月期3Q	56,430 株	23年3月期	54,975 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	288,301,920 株	23年3月期3Q	288,303,770 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中で、景気は緩やかに持ち直してまいりましたが、欧州の政府債務危機による海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動などにより、景気の先行きは一層不透明感を増してまいりました。

この間、建設業界におきましては、建設投資の減少に伴う受注競争の激化や労務費の上昇、建設資材価格の高止まりなど、依然として厳しい経営環境のまま推移いたしました。

このような状況の下、当社グループでは、「3カ年経営計画」の最終年度にあたり、徹底したコスト管理、受注工事高の確保により、目標利益の達成に向けて全社をあげて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期に比べ11.0%減の254億50百万円、営業利益は前年同四半期に比べ44.9%減の7億16百万円、経常利益は前年同四半期に比べ49.2%減の6億2百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ41.1%減の3億97百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書における営業利益と対応しております。

(建設事業)

厳しい受注環境が続いたことにより、売上高は前年同四半期に比べ5.6%減の246億50百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ44.9%減の6億17百万円となりました。

(不動産事業)

施主の経営危機に伴い保全した物件の売却等が概ね終了したことにより、売上高は前年同四半期に比べ67.5%減の8億円、セグメント利益は前年同四半期に比べ41.7%減の1億22百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、受取手形・完成工事未収入金等を回収したこと等により、前連結会計年度に比べ52億58百万円減の297億88百万円となりました。

負債合計は、支払手形・工事未払金等及び借入金が増加したこと等により、前連結会計年度に比べ56億26百万円減の248億71百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益3億97百万円を計上したこと等により、前連結会計年度に比べ3億67百万円増の49億17百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月27日に公表いたしました平成24年3月期の連結業績予想につきましては、変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,040	1,557
受取手形・完成工事未収入金等	18,668	14,046
未収消費税等	0	334
販売用不動産	516	789
未成工事支出金	226	324
不動産事業支出金	48	48
材料貯蔵品	78	80
繰延税金資産	28	37
その他	488	593
貸倒引当金	63	52
流動資産合計	22,033	17,760
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	2,965	2,888
土地	7,428	7,428
その他(純額)	95	92
有形固定資産合計	10,489	10,409
無形固定資産	88	100
投資その他の資産		
破産更生債権等	4,448	3,734
繰延税金資産	141	136
その他	651	599
貸倒引当金	2,806	2,952
投資その他の資産合計	2,435	1,518
固定資産合計	13,013	12,028
資産合計	35,047	29,788

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	13,934	10,857
短期借入金	11,235	8,836
未成工事受入金	238	441
不動産事業受入金	4	-
預り金	130	527
完成工事補償引当金	39	27
工事損失引当金	195	196
賞与引当金	103	41
その他	671	182
流動負債合計	26,553	21,111
固定負債		
長期借入金	2,385	2,226
退職給付引当金	1,378	1,343
役員退職慰労引当金	3	3
その他	177	186
固定負債合計	3,944	3,760
負債合計	30,498	24,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	1,703	1,703
利益剰余金	858	1,255
自己株式	2	2
株主資本合計	4,558	4,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	39
その他の包括利益累計額合計	9	39
純資産合計	4,549	4,917
負債純資産合計	35,047	29,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	28,584	25,450
売上原価	25,782	23,299
売上総利益	2,801	2,151
販売費及び一般管理費	1,502	1,435
営業利益	1,299	716
営業外収益		
受取利息	32	18
受取配当金	4	4
その他	16	22
営業外収益合計	53	45
営業外費用		
支払利息	143	124
その他	22	34
営業外費用合計	166	159
経常利益	1,186	602
特別利益		
貸倒引当金戻入額	220	-
その他	14	-
特別利益合計	234	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	598	185
その他	96	-
特別損失合計	695	185
税金等調整前四半期純利益	726	417
法人税、住民税及び事業税	56	24
法人税等調整額	4	4
法人税等合計	51	19
少数株主損益調整前四半期純利益	674	397
四半期純利益	674	397

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	674	397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	29
その他の包括利益合計	44	29
四半期包括利益	718	367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	718	367
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(a) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	不動産事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	26,120	2,464	28,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	10	16
計	26,126	2,474	28,600
セグメント利益	1,120	209	1,329

(b) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当

該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,329
全社費用(注)	29
四半期連結損益計算書の営業利益	1,299

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

(a) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	不動産事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	24,650	800	25,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	10	15
計	24,655	810	25,466
セグメント利益	617	122	739

(b) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	739
全社費用(注)	23
四半期連結損益計算書の営業利益	716

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 部門別売上高明細表

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		比較増減()		
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	
建設事業	建築工事	19,505	68.2	18,094	71.1	1,411	7.2
	土木工事	5,761	20.2	5,394	21.2	366	6.4
	電気工事	853	3.0	1,161	4.6	308	36.1
計	26,120	91.4	24,650	96.9	1,469	5.6	
不動産事業	2,464	8.6	800	3.1	1,664	67.5	
合計	28,584	100	25,450	100	3,134	11.0	

(2) 受注状況

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		比較増減()		
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)	
受注工事高	(1,295)		(900)				
	建築工事	16,214	67.7	16,205	61.9	8	0.1
	土木工事	6,024	25.1	7,818	29.8	1,794	29.8
電気工事	1,722	7.2	2,173	8.3	451	26.2	
合計	(1,295) 23,960	100	(900) 26,198	100	2,237	9.3	
繰越工事高	建築工事	21,855	81.2	21,796	77.1	59	0.3
	土木工事	4,097	15.2	5,387	19.1	1,289	31.5
	電気工事	954	3.6	1,074	3.8	119	12.6
合計	26,907	100	28,257	100	1,350	5.0	

(注) 1 当社グループでは建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2 当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載しておりません。

3 受注工事高の上段()書き表示額は、前期繰越工事高のうち、経済状況の変化等により事業が中止となった工事や契約を解除した工事の額であります。

以上